省力化機器のパイオニア
日東工器

空気式小型グラインダ　エアーソニック取扱説明書

プロフェッショナル工具
エアーソニック　型式 L-25B, L-25R, L-35C, L-35RA

■この製品をお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

L-25B

L-25R

L-35C

L-35RA

仕　様

型　式	L-25B	L-25R	L-35C	L-35RA
使用空気圧力	0.6MPa (6kgf/cm²)			
無負空気消費量	0.4m³/min		0.35m³/min	
無負荷回転数	27000min⁻¹		37500min⁻¹	
チャック径	6mm		6mm	
本体質量	0.6kg（本体のみ）		0.45kg（本体のみ）	

製造元 日東工器株式会社
本社・研究所　東京都大田区仲池上2-9-4
TEL 03 (3755) 1111 (大代表)　〒146-8555

この取扱説明書は必要なときにすぐ見られる場所に保管してください。

■改良のため仕様および形状は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

はじめに

このたびは日東工器の製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく効率的に作業することをお願いいたします。なお、この取扱説明書は必要なときにすぐに見られる場所に保管してください。

目　次

はじめに……1
目　次……1
使用上の注意事項
(工具全般)……2
(空気工具全般)……4
(本機に関する注意事項)……4
1. 用途……5
2. 梱包内容の確認……5
3. 空気供給……5
4. 使用方法……6
5. 部品の注文……7
6. 別売品……7

次の注意喚起シンボルの意味を十分に理解の上、この取扱説明書をよくお読みください。

⚠警告：	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意：	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。
注意：製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要な注意

使用上の注意事項

本機をご使用になる場合は、けがのないよう後述の基本的な安全対策を行ってください。

(工具全般)

作業される方へ

⚠警告

●作業に適した服装をしてください。(図1)
可動部分にからまれると危険ですので、ルーズな服装や装飾品をつけての作業はしないでください。滑りにくい履き物を履いてください。また、長髪のかたは髪が完全に収められる保護帽を着用してください。

●常に保護メガネを着用してください。 (図1)
普通のメガネは、耐衝撃性のレンズしかついていないので保護メガネとはいえません。

●防塵マスクを着用してください。
作業で粉じん等が発生する場合は防塵マスクを着用してください。

●無理な姿勢での作業はおやめください。
適切な足場で、バランスの良い姿勢で作業してください。

●疲労時は使用をおやめください。

●作動中の先端可動部には絶対に触れないでください。

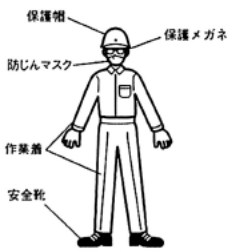


図1

作業場所について

⚠警告

●作業場所はきれいにしてください。
ちらかした場所や作業台での作業は事故をまねきます。

●作業場所にはご注意ください。
工具を雨にさらさないでください。湿った場所や濡れた場所で工具を使用しないでください。作業場所は十分に明るくしておいてください。

●引火性の液体の近くや、ガスなど爆発性の雰囲気での作業は絶対にしないでください。(図2)

●子供を作業場所に近づけないでください。
子供や作業関係者以外の人を作業場所に近づけさせないでください。

図2

作業前に

⚠警告

●工具を使用する前に点検を行って下さい。
使用前にネジなどがしっかり締まっているか、保護カバーやその他の部品に損傷がないか点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認してください。
可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
破損した保護カバー、その他の部品交換は取扱説明書に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合はお買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合はお買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。
作動スイッチで始動および停止のできない工具は使用しないでください。

⚠警告

●先端工具は確実に取り付けて下さい。
先端工具の取り付けが不十分ですと、飛び出し、破損等でけがの原因となります。
●調整後はスパナやレンチ等を必ず取りはずしてください。
●適切な工具をお使いください。
工具やその部品の能力を超えるような重作業はしないでください。また本来の用途以外では使用しないでください。
●無理な使い方をしないでください。
工具は仕様どおり使うことにより、能率よく安全に使うことができます。
●加工物は固定してください。
加工物はバイスやクランプで固定してください。加工物を手で持つより安全であり、工具を両手で操作することができます。

取扱について

⚠警告

●工具の保管方法
工具を使用しないときは、乾燥した場所に保管してください。また子供の手が届かない場所に保管してください。
●持ち運びに注意してください。
工具の作動スイッチに手をかけて持ち運ばないでください。
●工具を作動させたまま、放置しないでください。
作動スイッチを切り、動力源からはずし完全に停止するまで作業場を離れないでください。

保守・点検

⚠警告

●分解や改造はしないでください。
分解や改造を行なった工具の使用は事故の原因となります。
●先端工具・付属品等を点検して下さい。
先端工具・付属品等は本機に取り付け前に損傷、劣化がないことを必ず確認してください。損傷等がある場合は交換、またはお買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼して下さい。
●破損した部分がないか点検してください。
付属品やその他部品が破損したとき、工具が正常に作動するか、適切に作業できるかを確認するために、破損箇所を十分に確認してください。可動部分の連結状態は正常か、故障部品がないか、取り付け状態は良好か、そしてその他作動に支障をきたすところがないか確認してください。破損や作業に支障をきたす付属品や部品がありましたらお買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。
●専門店に修理を依頼してください。
修理または部品の交換はお買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。
●純正部品をご使用ください。
不適切な部品を使用すると重大事故につながります。
純正部品に関しては、この取扱説明書を参考にするかお買い求めの販売店もしくは当社にお問い合わせください。
●工具に付いているラベル、銘板ははがさないでください。
ラベル、銘板が傷ついたり、はがれたりしたらお買い求めの販売店もしくは当社まで連絡し交換してください。

(空気工具全般)

⚠警告

●適正な空気圧力で使用してください。
空気圧力が高いと回転数または往復数が速くなり早期の破損、磨耗等の故障の原因になるばかりではなく、思わぬ事故をまねくことがあります。
●空気配管に接続してください。
工場によっては空気以外（酸素、窒素、ガス）の配管も設置されているところがあります。接続時は必ず確認して

ください。

●不用意に始動しないでください。

工具を接続ホースにつなぐ前に、作動スイッチをオフにしてください。

●付属品の取り付け、取りはずし、あるいは工具をメンテナンスするときは必ず工具を接続ホースからはずしてください。

●排気に注意してください。

空気工具の排気は油、ドレーン等も含んで排出します。排気が直接顔に当たらぬよう、また周囲の人にも当たらぬよう、排気方向に注意をはらってください。

●電気に接触させないでください。

空気工具は電気との接触に対して絶縁されていません。感電の恐れがありますので電気に接触させないでください。

⚠注意

●工具はていねいに取り扱ってください。

乱暴な取扱いは事故や故障の原因となります。工具を投げたり、落としたり衝撃を与えないようにしてください。

●接続ホースはていねいに取り扱ってください。

接続ホースを持って工具を運んだり、引っ張って取りはずすことはしないでください。

(本機に関する注意事項)

⚠警告

●軸付き砥石及びロータリーバーの許容回転数がダイグラインダの実際の回転数よりも低い軸付き砥石及びロータリーバーは使用しないでください。

●軸はできるだけ深くチャック本体に差し込んで固定してください。長く出しすぎますと加工精度に影響するばかりでなく砥石やバーが破損して思わぬケガをします。

●チャック径は6mmです。使用する軸付き砥石及びロータリーバーの軸径がチャックに適合しないものは使用しないでください。

軸付き砥石の使用に際して

●軸付き砥石を装着する際には砥石をよく点検してください。裂け目が有ったり損傷している砥石、水や液体に浸してあった砥石は、使わないでください。

●砥石はチャック本体装着後ドレッシングしてください。

●オーバーハングは13mm以下にしてください。

●砥石形状により最高使用周速度が異なりますので留意してください。(図3)

ロータリーバーの使用に際して

●切削中、切り粉が飛散しますので必ず保護メガネ等の保護具をご使用ください。

●バーは切削面に軽く押しつけて、送りは右から左へ移動させて使用してください。

●ロータリーバーはなるべくダイヤ目(アヤ目)をご利用ください。

●刃部の外形は10mm以下のロータリーバーをご使用ください。

最高使用周速度(m / min)

区分	d=3	d=6
T/D≧2	800	1100
2>T/D≧1	1100	1500
1>T/D≧1/2	1500	2000
1/2>T/D	2000	2000

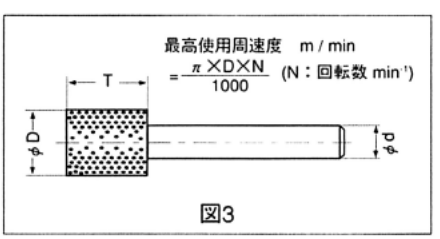


図3

●身体を切粉から保護してください。

研削時には熱くなった切粉が飛散します。作業時は保護メガネ、手袋、長袖の作業着等で身体を保護してください。また、顔は近づけないでください。

1．用途

本機は軸付き砥石またはロータリーバーで加工物を研削するために空気式手持ち工具の小型グラインダー（ダイグラインダー）です。

2．梱包内容の確認

梱包箱を開封しましたら、梱包内容の確認と製品が輸送中の事故などにより破損等が起きていないかお調べください。万一異常が生じていましたら、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店にご相談ください。

梱包内容一覧

L-25B、L-25R

梱包内容・付属品	数量	チェック欄	梱包内容・付属品	数量	チェック欄
エアーソニック（本体）	1		200-30SH ASSY	1	
スパナ14	1		取扱説明書（本書）	1	
砥石　#2 WA−60P	1		総合カタログ	1	
砥石　#3 WA−60P	1		アンケートハガキ	1	
チャック用ピン	1		エアー工具使用上の注意	1	

L-35C、L-35RA

梱包内容・付属品	数量	チェック欄	梱包内容・付属品	数量	チェック欄
エアーソニック（本体）	1		取扱説明書（本書）	1	
スパナ14	2		総合カタログ	1	
軸付砥石　13×13×6×38	1		アンケートハガキ	1	
200-30SH ASSY	1		エアー工具使用上の注意	1	

3．空気供給

3−1　使用空気圧力

空気圧力は、エアーレギュレータを使用して適性な圧力に調整してください。圧力が低すぎますと所定の性能を発揮できません。高すぎると各部の損傷をまねきます。

3−2　エアーライン（図4）

コンプレッサと本機の間には9.5mm（3／8”）の接続ホースをご使用ください。工具内にドレン等が入りますと故障の原因となります。コンプレッサと工具の間にはエアーフィルタを設置してください。

3−3　給油（図4）

コンプレッサと工具の間にオイラを取り付けてください。油は機械油#10を使用してください。注油をおこたると工具の損傷の原因となります。濃い油を注油しますと性能低下となります。

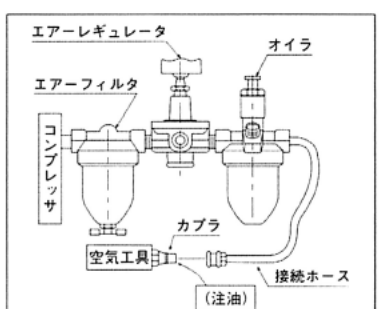


図4

4. 使用方法

⚠警告

●作業中は必ず保護メガネをご使用ください。また、ほこりが出る場合は防塵マスクもご使用ください。
●軸付き砥石、ロータリーバーや部品の交換、調整の際には必ず工具を接続ホースからはずしてください。
●作業中の可動部には手を触れないでください。

4−1　始動と停止

レバーバルブの場合　（図5）

(1)スロットルレバーがOFFの状態になっていることを確認し、本機のカプラに接続ホースを差し込みます。
(2)本機を持ちロックレバーを①前方に押しながら、②スロットルレバーを倒すと始動します。
(3)スロットルレバーから手を離すと、自動的にOFFの状態に戻ります。

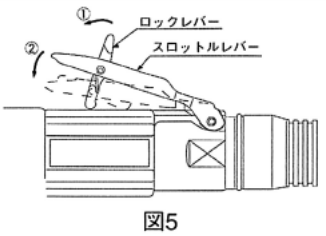


図5

リングバルブの場合　（図6）

(1)本体の凹マークとリングバルブのOFFマークが一致しているのを確認し、本機のカプラに接続ホースを差し込みます。
(2)本体の凹マークとリングバルブのONマークを合わせるようにリングバルブを回転させることにより始動します。
(3)凹マークとリングバルブのOFFマークを合わせるようにリングバルブを回転させると停止します。

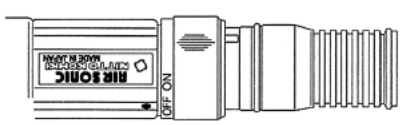


図6

4−2　回転数の調整　（図7）

アジャストバルブを⊖ドライバーにてまわすと空気流量が変わり、回転数を調整することができます。
最高回転位置はバルブのドライバー溝が本体の軸芯に一致した位置です。

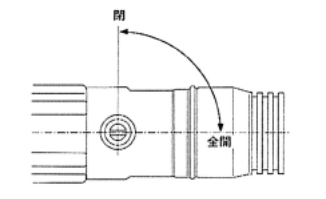


図7

4−3　軸付き砥石及びロータリーバーの取り付け取り外し

L-25タイプの場合　（図8）

ロックリングにチャック用ピンを差し込んでから砥石軸を差し込み、スパナ14でチャックナットを時計方向に回せば砥石を固定できます。この時、チャック用ピンは回り止めの役目をしています。
取り外すときは反時計方向にスパナを回して抜き取ってください。

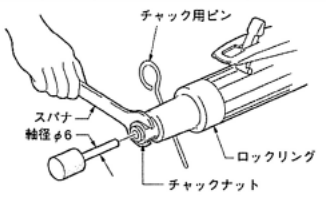


図8

L-35タイプの場合　（図9）

スパナ14でチャック本体を支持してからロータリーバー軸を差し込み、もう１本のスパナ14でチャックナットを時計方向に回せばロータリーバーを固定できます。
取り外すときは反時計方向にスパナ14を回して抜き取ってください。

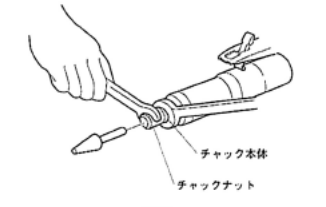


図9

4－4　研削作業

⚠注意

●軸付き砥石やロータリーバーを強い力で押し当てたりしないでください。軸付き砥石やロータリーバーが破損する原因となります。

本体を手で持ち、スイッチをONにします。軸付き砥石やロータリーバーを被研削物に軽く押し当て作業します。

4－5　工具の保管方法

⚠警告

●工具を使用しないときはお子さまなどの手の届かない場所に保管してください。

工具を使用しないときは湿気の少ない場所に保管してください。
また、使用したままの状態で置きますと空気中の湿気が本体内部に残っており、錆が発生しやすくなりますので、作業終了後は工具のカプラから機械油＃10を注油して少し作動させたのち保管してください。

5．部品の注文

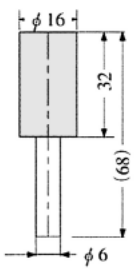
部品の注文の際は、部品番号・部品名・および数量をお買い求めの販売店へお知らせください。

6．別売品

標準附属の軸付き砥石のほかに次のような軸付き砥石、ロータリーバーを用意してありますので、用途に応じてご利用ください。砥石は全て砥粒WA、粒度＃60です。

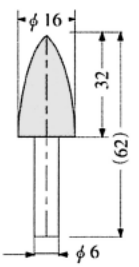
6－1　砥石

No. 1 砥石



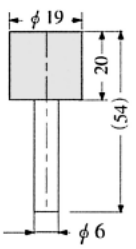
TP00476

No. 2 砥石



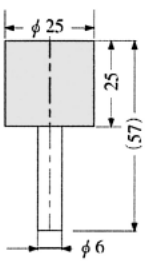
TP00477

No. 3 砥石



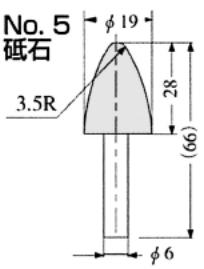
TP00478

No. 4 砥石



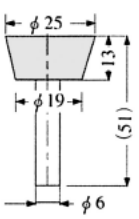
TP00479

No. 5 砥石



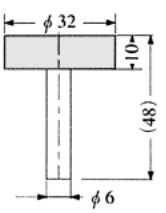
TP00480

No. 6 砥石



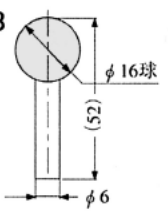
TP00481

No. 7 砥石



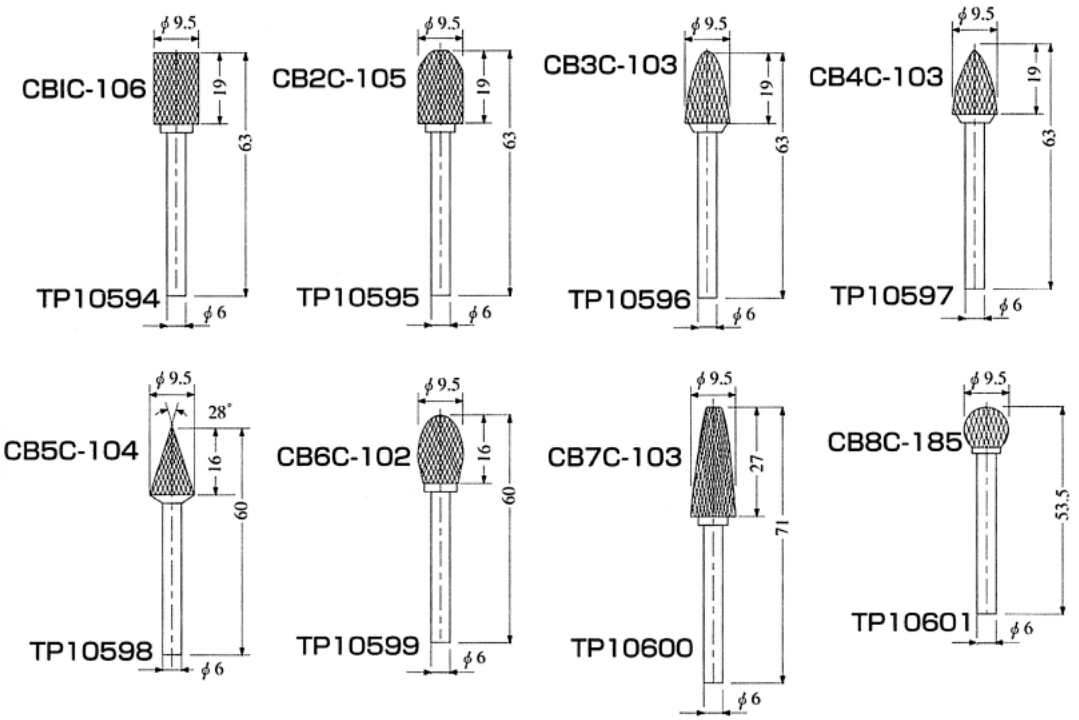
TP00482

No. 8 砥石



TP00483

6−2 ロータリーバー


CBIC-106
TP10594
CB2C-105
TP10595
CB3C-103
TP10596
CB4C-103
TP10597
CB5C-104
TP10598
CB6C-102
TP10599
CB7C-103
TP10600
CB8C-185
TP10601
φ9.5
φ6
19
63
28°
16
60
27
71
53.5